

## 報 道 資 料

### 腸管出血性大腸菌O26患者の発生について

平成16年5月7日

奈良市保健所 保健予防課  
0742-23-6173

#### 1、探 知

平成16年4月27日(木)午後1時すぎ、市内の病院から保健予防課に「腸管出血性大腸菌(O26)」を検出し、ベロ毒素VT1陽性の患者発生届があった。

#### 2、概 要

患者(1才、女兒、保育園児)は4月22日、数回の下痢を認め、血便も伴い近医を受診した。患者は一般状態が良かったので通院治療となっていたが、検便の結果が27日にO26ベロ毒素VT1陽性と判明した。患者と接触のあった11名を対象に健康診断(検便)を実施したところ3名(H16.5.6)がO26ベロ毒素VT1陽性と判明した。内訳は下記のとおりである。いずれも症状は見られず健康状態は良好である。

保健所は患者接触者に対して健康調査及び二次感染防止のための指導を実施している。また感染源についても調査中である。

#### 記

H16.5.7現在

	検便実施者(人)	O26VT1陽性(人)
家 族	5	2 (3才 女兒) (20才代 女性)
保育園保育士	6	1 (20才代 女性)
計	11	3

## 026について

026は0157と同様、診断した医師は直ちに患者発生届を保健所長に提出することになっています。

この菌の場合、0157にくらべて、症状は比較的かるいといわれています。

### どんな菌か

食中毒症状を起こす大腸菌です。

症状は、下痢、腹痛、嘔吐、血便などがみられます。

ベロ毒素をだします。

血便を見ることから、「腸管出血性大腸菌」として扱います。

### 感染の原因は

この菌に汚染した食品、例えば焼き肉用の肉が多いと思われます。  
また、患者の便より感染する事もあります。

### 症状は

潜伏期は3～5日、7日以上の場合もある。

発熱など風邪の症状、腹痛、下痢、嘔吐、悪心（はきけ）、血便などを認めます。

### 感染の心配のある方は

できるだけ早く、かかりつけ医に相談、受診を勧めます。

### 予防について

手洗い、特にトイレの後、食事の前には必ず行う事。

便器等が便等で汚れた場合は、逆性石鹼（オスバン）、消毒用アルコールで消毒することを勧めます。

入浴は患者の後は、特に小児、高齢者、体の弱い方は入らないように。

汚れた下着などは、塩素系の漂白剤で浸し、殺菌するように。

生ものはできるだけ避ける。また火や熱を十分に通すよう心がけてください。

これからの季節、食中毒には十分注意してください。